



2009年の突然の「ハツ場ダム中止宣言」は強烈だった。いよいよ本体工事となった時にいきなりの取りやめ、公共工事はこうしていても簡単に中止になってしまおうということを目の前で見せつけられた。「壊れていく技術者」の表題で「やりがい」までもがうせてしまうと提言したことを思い出す。

寄稿 群馬県建設業協会 会長 青柳 剛

「受発注者と協定した大手ゼネコンの全国議をすれば工事の一時中止ができる」といった国土交通省から出された通達、このままいけば災害復旧工事以外公共工事が全部中止」という懸念がどんどん広がって

いた大手ゼネコンの全国議をすれば工事の一時中止ができる」といった国土交通省から出された通達、このままいけば災害復旧工事以外公共工事が全部中止」という懸念がどんどん広がって

「複合災害」に備える旗

策の行きつく先は、ダム単年度で終わる工事を抱え、複数年度にわたる工事も

日、東京都なども25日に緊急事態宣言が明けた。結局ここまででは受発注者の協議としての工事の中止は限定的なものとなり、取りやめとなった工事の数は少なかつた。その

中、東京などでも25日に緊急事態宣言が明けた。結局ここまででは受発注者の協議としての工事の中止は限定的なものとなり、取りやめとなった工事の数は少なかつた。その

業者は少なくない。2年連続の小雪で撤退を考えた。群馬県建設業協会独自の「流通在庫蓄積方式」を9月に立ち上げた。12年2月の県内の大雪災害では「災害情報共有システム」をバージョンアップさせ、ツイッターと連携した「ぐんけん見張るくん」としてリ・スタートすることになった。

群馬県でも昨年度は台風19号の被害を受けた。自然災害とともに応急復旧にあたるのは地域に精通した建設会社、どんな時でも地域を守る建設業の役割を問いかけて続けなければならない。

八ツ場ダムの中止宣言では、08年の県内の土砂災害時に立ち上げていた衛星利用測位システム（GPS）機能を搭載した携帯電話を利用した「災害情報共有システム」を県内一帯に広めていくエネルギーになった。東日本大震災では、土のうやブルーシートを

業者は少なくない。2年連続の小雪で撤退を考えた。群馬県建設業協会独自の「流通在庫蓄積方式」を9月に立ち上げた。12年2月の県内の大雪災害では「災害情報共有システム」をバージョンアップさせ、ツイッターと連携した「ぐんけん見張るくん」としてリ・スタートすることになった。